

平成 28 年度 事業報告書
平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

○ 事業概要

小野市シルバー人材センターは、平成 17 年 4 月 1 日に広域から単独の社団法人として出発し、公益社団法人への移行を平成 24 年 4 月 1 日に達成、社団法人として 7 年、公益社団法人として 5 ヶ年が経過したところです。

スポーツ庁は、体育の日を前に 75～79 歳の体力は過去最高となるなど、高齢者の体力は上向き傾向が続いているとしています。また、認知能力の年齢による変化を見ると、高齢者の短期記憶能力は低下するものの、日常問題解決能力や言語能力は向上しているとの調査結果もあります。

現在、小野市における高齢化状況は、平成 29 年 3 月末 60 歳以上人口では 16,224 人、対人口比率で 33.1%、高齢化率（65 歳以上人口比率）は対象人口 13,130 人で 26.8%に達していますが、健康で働く意欲のある高齢者は年々増加する傾向にあり、当センターにおいてもこれらの人々の期待に応えるべく、その使命を果たさなければならない状況下にあります。日本老年学会などは 65～74 歳は「社会を支える人たち」と位置付け捉え直しました。

今後も、「福祉の受け手から社会の担い手へ」支えられる側から支える側として活動し、生涯現役社会の実現を目指して活躍していきます。

平成 28 年度事業実績は、受託事業契約金額 290,254,127 円、派遣事業契約金額 15,900,113 円、合計 306,154,240 円となっており、昨年を 1.3%上回った結果となりました。

会員数につきましては、3 月末時点で 627 の方が入会されており、就業実人員は 563 人、年間就業率は 89.8%となりました。

以下、平成 28 年度の主な事業実施状況を報告いたします。

○ 実施状況

1. 高齢者の就業に関する情報の収集及び提供（公 1）

（1）広報媒体の作成・配布等

- ① 小野市の広報誌 29 年 3 月号にシルバー情報を掲載していただきました。
- ② 平成 16 年度から開設したシルバーホームページを、平成 28 年度に更新し 1 年間を通して情報提供を実施しました。
- ③ 会報第 25 号、26 号として「シルバーだより おの」を発刊し、会員への配布及び市内公共機関の窓口でのシルバー情報の提供を実施しました。
- ④ 全シ協、兵シ協、兵庫県等から提供された広報媒体を、会員への増刷り配布、公共施設への配備を実施しました。
- ⑤ 広報委員会を 6 月 24 日、10 月 24 日、2 月 27 日の 3 回開催しました。

（2）公共機関等の行う各種イベントでの普及宣伝活動

- ① うるおい交流館エクラで開催された小野市産業フェスティバル会場に、「刃と

ぎ」コーナーを設置、刃とぎ会員の匠の技を提供しました。そして、毎週日曜日には、ひまわりの丘公園内の「匠の里・シルバー刃とぎ館」において刃とぎを継続して実施、シルバーの広告塔としての宣伝活動を行いました。

2. 高齢者の就業に関する調査及び研究（公1）

- (1) 兵庫県内のシルバー活動・事業情報を、兵シ協等主催の各種研修会に参加して見識を高め、当シルバーの事業展開に活用しました。

3. 会員の拡大と就業相談会等の実施（公1）

- (1) シルバー事務所を訪問された市民等を対象に、随時就業相談を実施しました。
 (2) 平成29年3月31日現在の会員数は627人となりました。平成17年度～28年度の間の方員の入会及び退会の方向は下表のとおりです。

区 分	会 員 数 (人)			入会者数 (人)			退会者数 (人)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
17年度末	298	137	435	27	25	52	22	20	42
18年度末	328	161	489	53	45	98	23	21	44
19年度末	358	170	528	62	28	90	32	19	51
20年度末	387	199	586	74	42	116	45	13	58
21年度末	418	217	635	89	42	131	58	24	82
22年度末	429	223	652	69	30	99	58	24	82
23年度末	408	222	630	63	40	103	84	41	125
24年度末	432	211	643	69	30	99	45	41	86
25年度末	424	214	638	50	31	81	58	28	86
26年度末	431	218	649	49	27	76	42	23	65
27年度末	410	210	620	36	22	58	57	30	87
28年度末	408	219	627	32	21	53	34	12	46

- (3) 平成28年度末の方員の方域別状況は下表のとおりです。

地 域 区 分	地 域 コード	会 員 数 (人)		
		男	女	計
小野 地区	0 1 0 0	46	39	85
小野東地区	0 1 1 0	93	42	135
河合 地区	0 2 0 0	51	26	77
来住 地区	0 3 0 0	37	16	53
市場 地区	0 3 1 0	79	38	117
大部 地区	0 4 0 0	47	30	77
下東条地区	0 5 0 0	50	24	74
市 外	0 6 0 0	5	4	9
計		408	219	627

(4) シルバー会員証の交付

会員の身分証明と自己責任の認識及び安全就業の心得の自覚を目的として、平成28年度入会会員53人に会員証を交付しました。

(5) 新入会員入会説明会等の開催

公益社団法人への移行に伴う平成24年4月1日からの正会員の入会については、新定款に基づく対応を実施してきましたが、平成24年11月からは、会員確保の観点から入会説明会を月2回のペースで開催してきました。本年度参加いただいた方は75人、その内新規会員として40人の方を登録しました。

説明会は下記の内容で実施したところです。

- ビデオ視聴、「会員のしおり」によるシルバー人材センターの仕組みの研修
- 安全・適正就業についての研修
- (公社)小野市シルバー人材センターの事業概要説明

4. 高齢者に対する臨時的かつ短期的な就業（雇用によるものを除く。）又はその他の軽易な業務にかかる就業機会（雇用によるものを除く。）の確保及び提供（公1）

(1) 事業実績の概要（受託事業）

- ① 会員数 627人
- ② 就業実人員 533人
- ③ 就業延人員 65,666人日
- ④ 受注件数 1,996件
- ⑤ 契約金額 290,254,127円
- ⑥ 配分金 258,195,757円(会員1人当平均額 484,420円)

(2) 事業実績の職種別内訳（受託事業）

区分	内 容	受注 件数	延人員 (人日)	契約金額 (円)
技 術	ホークリフト運転等	4	2,385	12,838,582
技 能	剪定・大工・塗装等	723	2,825	22,732,787
事 務	筆耕・事務整理	33	399	2,199,423
管理・監視	施設管理等	19	9,071	42,586,985
折衝外交	配達・集金・文書配布等	1	110	577,500
一般作業	軽作業・補助作業・除草等	1,180	49,556	204,876,219
サービス	家事援助・社会活動等	36	1,320	4,442,631
合 計		1,996	65,666	290,254,127

(3) 事業実績の公共・民間別内訳（受託事業）

区 分		内 容	受注 件数	延人員 (人日)	契約金額 (円)
公共事業		施設管理・清掃等	138	10,001	43,836,607
民 間	企業・家庭	軽作業・除草・清掃 剪定等	1,857	55,511	245,571,520
	独自事業	刃研ぎ	1	154	846,000
合 計			1,996	65,666	290,254,127

(4) 事業実績の動向（受託事業・平成 23 年度～平成 28 年度）

区 分	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
会 員 数 (人)	630	643	638	649	620	627
就業実人員 (人)	544	543	547	551	539	533
就業延人員 (人日)	65,258	63,035	62,768	63,905	65,338	65,666
受注 件数 (件)	3,785	3,940	3,922	3,995	1,900	1,996
契約 金額 (千円)	293,430	282,919	279,108	284,551	288,930	290,254
配 分 金 (千円)	262,508	250,063	249,362	253,155	257,706	258,196
1 人当配分金 (円)	482,552	460,520	455,871	459,447	478,119	484,420

(5) 就業開拓事業の推進

国庫補助対象事業として就業機会の創出事業が平成 22 年度をもって打ち切りとなったため、当センター独自に就業機会開拓員 1 名を配置し、年間約 180 日の就業開拓活動等を実施しました。主な活動内容は、シルバー広報媒体の配布を伴う市内事業所・家庭の訪問件数は 4,550 件、個別対話件数 2,400 件、新たな受注確保件数は 91 件（見込み件数含む。）となっています。市内におけるシルバー事業の広報宣伝にも繋がったところです。

5. 有料職業紹介事業の実施について

シルバーワークプラザ内に有料職業紹介コーナーを設けましたが、求人申し込みはありませんでした。

6. 高齢者に対する臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習会等への参加、・講習会の開催（公 1）

(1) 剪定講習会の開催

本年度も昨年度に引き続き、剪定分野での就業を希望されている方に会員登録をしてもらい、剪定講習会を受講してもらいました。講師に森緑地造園・森弘明氏を迎えて実施し、講習会参加者は 14 人となりました。同講習会は、昨年度より 1 日増やし平成 29 年 2 月 20 日から 24 日にかけて 5 日間実施しました。講習会初日は午前中にシルバーワークプラザ会議室で講義を行い、その後、24 日までは共進舎牧農園で実技指導を実施しました。

受講後に記述をいただいたアンケート調査では、「各人のレベルに見合った講習で専門家の技術が学べた。」等高い評価を得ました。また、最終日は、各自で自分の木を決めて剪定する卒業試験を実施、好評を得ました。残念だったのは、松の剪定に夢中になり、バランスを崩し脚立から落下、肋骨を骨折する事故が発生、チェックの甘さを反省いたしました。

(2) 草刈り・チェーンソー講習会の開催

4月27日に共進牧場第2駐車場の南側で開催、刈払機及びチェーンソーの構造と取扱い等について講習。受講会員は36人でした。

(3) 清掃講習会の開催

2月9日に午前と午後の2回に分けてシルバーワークプラザ内で清掃作業効率と技術向上のため清掃講習会を実施、受講会員は12人でした。今回は、各人に実習してもらうため少人数で実施しました。

掃除の基本は「上から下、右から左（左から右）」

7. 安全・適正就業対策の推進（公1）

① 平成28年度安全・適正就業委員会を7月8日、10月27日、3月17日の3回にわたって開催

- ・職群班等・適正就業体制を確立
- ・安全適正就業推進活動計画の策定
- ・全シ協、兵シ協、小野市SCの事故状況の把握と対策協議
- ・安全パトロール状況の把握と対策協議
- ・草刈班及び剪定班等主に屋外作業に従事する会員を対象に「安全はすべてに優先」をタイトルに安全推進講習会を実施しました。受講者は43人でした。

② 草刈班、剪定班の打合せ会の開催と協議の実施

- ・草刈班は4月21日に開催
- ・剪定班は5月27日に開催
- ・班編成の確立
- ・安全就業留意事項の徹底と意見交換

③ 安全グッズの整備

- ・年2回安全グッズの棚卸を実施し品目確認
- ・ヘルメット、安全帯、防御ネット等必要グッズを補充
- ・虫刺され対応蜂スプレーを常備し、剪定・草刈り就業に備えた

④ 安全・適正就業パトロール

- ・安全パトロール、5月31日、6月22日、8月26日、10月13日、1月25日の5回実施

草刈り、剪定、立木伐採現場をパトロールし、安全グッズの着用状況等をチェックし、危険な就業には是正勧告を実施、安全就業基準違反には警告書を発出また、会社等の就業現場をパトロールし、危険な就業、混在就業による指揮命

令存在の疑義等の確認と就業時間オーバーの改善に努めた。

更に、厚生労働省・全シ協が作成した「適正就業ガイドライン」を配布・研修し適正就業を推進しました。

⑤ シルバーリーダースクール（交通安全講習会・11月17日開催）への参加

平成20年度から続く第9年次の取組みとして、小野市交通安全協会が主催する講習会へ参加する形で会員の平成28年度交通安全講習会を開催。小野自動車教習所において、座学研修は高齢者の事故の原因や道路交通法の改正により認知機能検査が強化されるなどについて学び、実車研修では、教官同乗のもとコースを試走し採点していただきました。自分の運転技術の再点検をするとともに安全運転の大切さを学びました。当日の参加会員は20人でした。参加会員一同、地域において高齢者に対する積極的な交通安全啓発活動に努めたいと、決意を新たにしたところです。

⑥ 安全・適正就業推進員の配置

平成28年度も引続いて安全・適正就業推進員を配置し、安全・適正就業対策を推進しました。特に今年度は就業中の事故が多発したため、その対策に努めました。また、「安全就業・適正就業だより」を毎月発行し注意を喚起しました。

⑦ 会員の就業の際の万一の事故や傷害、他者への損害賠償、シルバー事業の安全確保のため、平成28年度もシルバー保険に加入し、そのリスク補償に備えました。

なお、平成17年度～平成28年度の傷害事故・賠償事故等の保険事故件数等の状況は下記のとおりです。

[年次別傷害・賠償事故件数等、事案終結時でカウント]

年度	就業中	往復経路	入院日数	通院日数	身体賠償	財物賠償	動産保険
17	12	0	38	50	0	0	0
18	10	2	31	173	0	2	0
19	14	3	4	92	0	2	1
20	14	2	42	159	1	4	0
21	10	1	48	138	0	4	0
22	9	1	0	142	0	5	0
23	8	0	65	35	0	2	0
24	5	1	94	24	0	10	0
25	4	2	0	45	0	2	0
26	9	0	21	33	1	3	0
27	7	0	307	48	0	2	0
28	7	1	53	38	0	4	0

8. 一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）の実施状況（公1）

シルバー人材センターでの「適正な就業」を推進するため、平成20年5月から（社）兵庫県シルバー人材センター協会（兵シ協）において労働者派遣事業が実施されました。当センターにおいても兵庫労働局への届出により、兵シ協の小野市事務所として平成20年12月18日から派遣事業を実施しています。

平成20年度～平成28年度の小野市事務所での派遣事業の事業実績は次表のとおりです。

（単位：人・円）

年度	受注 件数	就業 人員	延べ 人員	賃 金	手数料	消費税	契約金額	委託料
20	5	3	74	198,875	39,775	11,931	250,581	25,200
21	155	40	5,475	19,805,230	3,486,614	1,134,768	24,426,612	2,382,450
22	123	38	4,993	16,501,490	3,020,752	971,422	20,493,664	1,980,300
23	63	26	2,116	6,604,884	1,166,049	386,499	8,157,432	582,750
24	105	55	5,732	24,597,888	3,649,281	1,341,574	29,588,743	2,116,800
25	149	46	4,651	18,475,719	3,162,011	1,081,846	22,719,576	1,845,900
26	161	41	4,360	18,791,557	3,282,332	1,758,182	23,832,071	2,093,040
27	22	15	2,727	10,231,859	2,016,598	969,123	13,217,580	1,173,960
28	27	30	2,804	12,314,237	2,423,767	1,162,109	15,900,113	1,540,080

※ 受託事業と派遣事業を合わせた事業実績のまとめ

派遣事業は事業主体である兵シ協の小野市事務所としての委託事業であるため、当センターの公益法人会計の収支計算書上、当該契約金額は現れてきません。従って、受託事業と派遣事業を合わせた事業実績を下表にまとめています。

年度	契 約 金 額			就業実人員	就業延人員
	受託事業（円）	派遣事業（円）	合 計（円）		
20	352,821,675	250,581	353,072,256	539人	74,322人日
21	323,745,319	24,426,612	348,171,931	600人	74,836人日
22	291,976,749	20,493,664	312,470,413	586人	70,070人日
23	293,429,611	8,157,432	301,587,043	570人	67,374人日
24	282,918,229	29,588,743	312,506,972	598人	68,767人日
25	279,107,616	22,719,576	301,827,192	593人	67,419人日
26	284,550,906	23,832,071	308,382,977	592人	68,265人日
27	288,929,797	13,217,580	302,147,377	554人	68,065人日
28	290,254,127	15,900,113	306,154,240	563人	68,470人日

9. 事務処理の集中化の推進（公1）

（公社）兵庫県シルバー人材センター協会及び兵庫県下10センターが共通する事務について、その処理の集中化を実施しました。今後も引き続き多くのセンターの参加と、事務の効率化、事務処理の水準の引き上げに向けた取り組みを推進します。

10. 独自事業の推進（公1）

（1）「匠の里・シルバー刃とぎ館」の開設

金物製造の街のイメージを高め、シルバー事業の地域における周知を図り、家庭用刃物の再生、匠の技を持つ会員への新たな就業機会の提供を目的に、平成18年11月から、ひまわりの丘公園内で「匠の里・シルバー刃とぎ館」を開設し、平成28年度も毎週日曜日午前9時から午後1時までの時間帯で継続事業として実施しました。本年度の事業への参加会員は、とぎと受付会員を含め10人、延べ154人日でした。

平成28年度も、小野市くらしの会から受付管理応援事業として、延べ10回、20人のスタッフのご参加をいただきました。小野市産業フェスティバルには10月22日、23日の両日、刃とぎコーナーとして出展し、とぎ発注者19人、39丁の刃とぎを実施しました。

平成19年度から平成28年度までの事業実績は下表のとおりです。

年度区分	発注者数 (人)	発注丁数 (丁)	研ぎ料金 (円)	延べ就業 (人日)
平成19年度	462	1,093	600,650	163
平成20年度	516	1,206	657,800	160
平成21年度	588	1,328	712,100	160
平成22年度	596	1,304	685,500	153
平成23年度	611	1,441	768,300	160
平成24年度	623	1,379	725,200	184
平成25年度	654	1,523	807,900	165
平成26年度	709	1,723	926,000	163
平成27年度	746	1,569	841,000	161
平成28年度	721	1,574	846,000	154

（2）剪定枝葉チップ化・自然還元・循環型社会構築事業の取組み

当センターが受託した剪定業務にかかる当該剪定枝葉の処分については、野焼きの禁止措置、CO₂削減問題等の課題を受けての懸案事項であり、平成19年5月にはセンターの第一次中期計画における研究・検討課題として位置づけ、議論の積上げを実施してきたところですが、平成20年度における高年齢者就業機会確保事業費補助金の企画提案方式事業における「環境・教育」分野の補助事業として、「剪定枝葉チップ化・自然還元・循環型社会構築事業」が採択され、小野市当局の支援を受けて当該事業を構築することができました。しかし、平成25年度からは独自事業としての事業構築・稼働となりました。

平成 20 年度～平成 28 年度事業実績は下表のとおりです。

(車数は軽四輪トラック換算)

区分 / 年度	会員 就業 日数	延べ 就業 人日	延べ 就業 時間	破碎 発注 者	破碎 受入 車数	破碎 推定 重量	チップ 排 出 車 数	訪問チップ化事業			
								受託 件数	就業 人日	延べ 時間	概算 処理 量
								戸数	人日	時間	車数
20	25	153	795	50	120	18	30	※	※	※	※
21	274	635	3,939	383	904	136	262	20	57	219	91
22	250	551	3,497	364	752	113	242	9	18	13	10
23	234	514	3,455	436	1,036	155	256	6	12	9	8
24	207	538	3,407.5	541	867	130	236	5	10	13	5
25	197	320	2,070.5	482	674	61	108	5	8	16	5
26	102	163	1,069	301	409	33	100	1	2	3	1
27	170	257	1,522.5	434	584	53	115	0	0	0	0
28	175	267	1,687.5	691	912	76	105	0	0	0	0

平成 28 年度の上記当該チップ 105 車の活用排出先は、市内公園敷設関係 29 車、市内中学校花壇敷設 4 車、桜つつみ回廊敷設利用等 9 車、市民の皆さんへ無料で提供した分が 63 車でした。継続してチップを敷設したところでは、雑草の抑制、乾燥防止、土壌改良に繋がり、植物の生育にとっても良い環境を提供できています。

11. 会員組織の整備 (他 1)

地域班設置規程に基づき地域班をまとめ地区長体制を推進することができ、会員の福利厚生事業活動推進の中心として活躍していただきました。

12. シルバー会員の親睦と連帯意識の高揚に繋がる事業の展開 (他 1)

① 福利厚生委員会を 8 月 24 日と 3 月 23 日の 2 回開催しました。

② 会員親睦日帰り旅行を平成 28 年 11 月 6 日 (日) に実施しました。

行き先は岡山県の鷺羽山とバラ園でした。

昼食は下電ホテルで行い、会員交流・親睦の場となり、明日への英気を養いました。併せて、喜寿のお祝い (該当会員 25 人) を当日参加の 6 人に福利厚生委員長から渡され、参加者全員でお祝いをしました。

なお、当日の参加者は 89 人 (バス 2 台) でした。

③ 第 6 回理事長杯争奪グラウンドゴルフ大会の開催

平成 28 年 11 月 15 日午後 1 時から、こだまの森・グラウンドゴルフコースにおいて、第 6 回理事長杯争奪グラウンドゴルフ大会を開催しました。

当日は、32人の会員が技を競い合い、和気あいあいの中で会員相互の交流を深めることができました。

④ 第6回環境保全・ボランティア活動の実施

「あなたも是非ご参加を！！」「環境保全・ボランティア活動」をスローガンに、平成29年3月19日（日）午前10時から12時までの2時間実施しました。

・加古川左岸の「桜つつみ回廊」でのゴミ拾いに24人の会員

・国道175号線下「山田の里公園」でのゴミ拾いには34人の会員

合計58人が参加、軽四輪トラック3台に山盛りのゴミを収集、桜の開花直前の清掃作業となり、当該周辺の環境美化に貢献することができました。是非これかも継続して取組みたいものです。

13. 小野市シルバー人材センター中長期計画の推進（法人）

12月14日と3月15日の2回開催しました。前期5か年計画の総括とそれに基づき後期5か年計画を策定する方針を出しました。また、シルバーワークプラザでのサークル活動の促進による会員（特に女性会員）の拡大、「会員の意識改革の向上」に係る各種研修を推進していくことにしました。

14. 公益社団法人としての機関確保事業の実施（法人）

① 平成28年度定時総会を平成28年5月28日に開催いたしました。

② 事業推進の要として、理事会を5回（4月・7月・10月・1月・3月）開催いたしました。

③ 公益法人業務の適正化を図るため4月と11月に監査を実施しました。

④ 総務財政委員会を12月7日と3月8日の2回開催しました。

⑤ 「会員等の顕彰に関する規程」に基づき、会員の20年表彰1人、10年表彰13人を定時総会で行いました。

⑥ 兵庫県シルバー人材センター事業推進大会において兵シ協会長から会員が表彰されました。（会員期間20年2人、15年3人）

⑦ 小野市長及び小野市議会議長へ「高齢者が地域で活躍できる場の拡大に取り組むシルバー人材センターへの支援」について要望書を提出しました。

15. 事業及び会計処理の適正処理の実施（法人）

公益法人会計基準に基づいた会計処理の適正実施を確保するため、公認会計士事務所の指導を受ける体制を引続き確立し、4月19日、11月7日、2月13日に受けました。

16. 「シルバーワークプラザ」の活用について（公1・法人）

会員相互の交流、研修、作業場等として、これからの当センター事業の新たな展開にとって必要な、「シルバーワークプラザ」で会員の絵画、工芸品等の展示及び一般の方から写真を展示して頂きました。会員をはじめ多くの市民の皆さんの交流の場として、加えて理事会、専門部会、説明会、研修会等100回以上開催し、1,600人を上回る市民の方々や会員が利活用しました。